

慢性めまい研究のご紹介

慢性めまいの新しい治療法の研究です

あなたは、次のようなめまいで困っていませんか？

- フワフワ、クラクラ、フラフラするめまいが慢性的に続いている
- 立つ、歩く、頭や体を動かす、動く物やたくさんの物を見る、などでめまいが強くなる
- 耳や脳に異常が見つからない、または耳や脳の異常では説明できない

このような症状がある方は、「慢性めまい」の可能性がります。近年の研究でわかってきた病気で、正式名称は持続性知覚性姿勢誘発めまいです。メニエール病、良性発作性頭位めまい症、前庭神経炎といった他の耳の病気をお持ちの方にも発症することがあります。

治療では、認知行動療法（心理療法）やめまいリハビリが有効なことがわかりつつありますが、世界的にも適切な治療法が普及していません。

そこで、名古屋市立大学病院耳鼻いんこう科は、こころの医療センターと協力して、認知行動療法とめまいリハビリを組み合わせた新しい治療プログラムを開発しました。このプログラムは当院以外では行われていません。

2017年4月より、20歳～64歳の方を対象に、新しいプログラムの効果を調べる研究をしています。

研究に参加されると、慢性めまいに効果が期待できる2つの治療のうち1つを受けられます。その治療が終わったあと、ご希望の方はもう一方の治療も受けられます。

なお、この研究の治療は無料で受けられます。（耳鼻科診察には通常の保険診療の費用がかかります）

研究参加をご希望の方は、名古屋市立大学病院耳鼻いんこう科「めまい外来」宛ての紹介状を通院中の医師に書いていただき、受診してください。検査・診察にてめまいの診断を行い、さらに、慢性めまい外来にて、この研究に参加していただけるかを確認し、詳しく説明いたします。研究へのご協力をお願いいたします。

名古屋市立大学病院 耳鼻いんこう科 医師
中山明峰、蒲谷嘉代子（研究分担者）
名古屋市立大学病院 こころの医療センター 医師
近藤真前（研究責任者）

（2017年4月）

